

町政を問う（一般質問）



問1

答

大石町政基本姿勢を問う
町民の声をどう受け止めたか
期待を感した選挙であった

前野由和議員



町長になる決意のもとで、町内をくまなく挨拶回りをしたと思うが感想を聞く。また、選挙結果についてどう思うか。

大石雅夫町長

過去に全町内を巡回した時と比べて高齢化が進み、高齢独居世帯が多くなった。お元気でいるが、身体の具合が悪くなったら相談するとの訴えがあり、不安に寄り添い、見守る対策が必要と感じた。また、投票

問2

答

住まいの確保をどう進めるか
住宅はいつ、どのように整備するか
公共施設管理計画と一体とし検討する

前野由和議員

住宅整備は、喫緊の課題であるが改修の計画について聞く。

大石雅夫町長

必要性は感じているが、改修計画はまだ立てられていない。公共施設管理計画と一体とし検討する。1、2年で立ち上げたいと思っている。

前野由和議員

移住促進は、NPOとの共同が必要、いい関係構築に努力せよ。また、2021年度、国において住宅対策予算が計上されている。本町で活用可能な事業があるのか。

大石雅夫町長

課題はあるが、要望に応じて互いに受け渡しを行うなど連携を図っている。今後も更なる連携に努め、お

互いに移住促進を進めていく。また、既存住宅の「長期優良住宅化リフォーム推進事業」は、町営住宅に活用できる。



問3

答

携帯電話はつながるか
エリア拡大はどこまでか
一地域を残すのみとなった

前野由和議員

携帯電話がつながらない地域の改善は。また、事業者から2023年度までに解消できるとの開設計画が認定され、一定のめどがたったとのことであるがどうか。

大石雅夫町長

北川一・二区、西峯三谷、奥大田地区については、最低一事業者の携帯がつなが

るように改善された。残る2地区、立川三谷、仁尾ヶ内については要請中である。また、開設計画についての情報は得ていない。なお、立川三谷地区については、整備計画が進んでいる。

問4

答

歴史の教訓に学ぶ
体験の風化を止めよ
平和の尊さを伝えていく

前野由和議員

100歳を超えた今でも、戦争の悲惨さを子どもたちに語り続けている大豊出身の方がある。子どもの時の体験はその人の人生を方向づける大切なことだ。新しい学校ができても平和教育を進めることを要請する。

鎌倉仁教育長

戦争体験の風化が進んでいると承知している。我々が命の尊さ、平和の大切さを語り継いでいく使命を果たさなければと考える。

問6

答

人材育成について問う
人づくりについて具体的な説明を
人事評価制度を見直し、地域の中へ入っていく

小笠原妙子議員

人事評価制度も取り入れ、地域づくりは人づくりと、住民と協働し大豊町を未来へ繋げるため、10年、20年先を見据えた人材育成に大変期待もしているが、何から手がけていくのか。

大石雅夫町長

人事評価制度を見直し、職員的能力を上げ、また職員が地域の中に入ることにより、高齢者対策や地域の繋がりを強化し、リーダーとなりうる人材の育成を図る。

問5

答

3つの公約について
具体的な取り組みを聞く
目標に向け土壌づくりに励む

小笠原妙子議員



全町民のニーズに適切に答えられる包括的な支援体制づくり

生活の安全・安心・快適を目指した地域防災の強化、消防組織への取り組み

就学前教育や保育環境の充実と生涯学習活動の推進

3つの公約について、具体的な取り組みを聞く。



問7

答

ワクチン接種について
町内接種はどうするのか
完全予約制で町内医療機関3カ所で行う

三谷よし恵議員

集団接種は、どのように行いました、町内での個別接種は可能か。
町外のかかりつけ医を希望する場合、すべての医療

機関で接種可能か。

65歳未満の既往症を持たれる方については、どのような方法になるのか。

大石雅夫町長

アンケートを実施した。回収率83.6%。集団接種希望者が1114人、町外かかりつけ医接種希望者が436人、接種を希望しな